一読したが、粗探 反論文書を作り、町 いの対応である。

本当の姿を伝える

若いころ在籍した

判断と歴史の評価に については、読者の 試みた。内容の是非 たい、と問題提起を 域の本当の姿を伝え 部分に光をあて、地 ではよく分からない 説明やマスコミ報道 と影がある。行政の じる記事を書いた。 計画などに一石を投 証し、環境未来都市 育った筆者の目で検 通じ、下川に生まれ 名寄新聞社の紙面を どんな事業にも光

切ない。直言できな 誤認。を強調するが、 私に対し、連載内容 捉え方の違いにすぎ 重ねている。 "事実 い、後ろめたいこと への直接の批判は一 力所だけだった。 しをして、言い訳を これまで、町から く、明白な誤認は1 中に配布することが め』ではないか。そ じる、一種の「いじ 病はかなり重篤と言 配布したのならば、 の自覚もなく文書を だ。自由な意見を封 可能になる。怖い話

を侵すものであり、 わざるを得ない。 表現・報道の自由

> 助金行政のツケ…」 で連載を組み、「補 基地や生薬公社問題 時代、名寄市の畜産 30年ほど前の記者 うした声は多い。

しく指摘した。 快く

義雄市長(故人) もいたに違いない。 思わない市の関係者 だが、当時の石川 り4割余り少ない89

り増える。将来が心

武士の商法」と厳 年の農家数は、今よ 年の下川町は250 0人台まで減少。25 によると、2030

国立社会保障・人

ら電話をもらった。 口問題研究所の予測 年配者を中心に、こ 配」と案じる町民か

どとよく議論し、合 できるだろう。 だけ努力すれば実現 見に耳を傾け、少し 大切だ。わずか3千 **意形成を図ることが** 八台の町である。意

の支援などが手薄に 対策、農・商工業へ を優先するあまり 医療や除雪、空き家 任民生活に密着した 未来都市関連事業

の施設を充実させた 型事業よりも、既存 なっていないか。 発電所のような大 にこう提言する。 元副議長)は各議員

らず、住民や議会な テムを、行政主導で 創設してはどうか。 薪も立派な木質バイ オなのだから。

シイタケ生産施設の

※訂正=第2回

ながるのだから…。

西野徳義さん(80・ いうが、論外だ。 町議会の席上、気に 声がある。さらに、 責する場面もあると と、町長が議員を叱 食わない質問が出る 反映できない」との 示すのでは、意見が 決定寸前に住民へ 各種事業に対し、 一方、町議OBの 電話/01655・ スでした。正しくは お寄せください。 や意見、批判などを 「5棟」です。 ocn.ne.jp メール/tkoji@rose $\frac{4}{4270}$ 数「6棟」は入力ミ

連載に対する感想

に揺れる北の大地」 ライター。著書『核 954年、下川町生 年からフリーのルポ 酪農業など経て、91 退。名寄新聞記者、 和光大人文学部中 まれ。名寄農高卒。 わ・こうじさん=1 筆者紹介・たきか

論を加えたことだ。 住民のコメントに反 憂慮する、記事中の 林整備の行方などを があるのだろうか 許せないのは、森 と開始後の計3回 強く抗議し、関係住 求しておく。 民に対する謝罪を要 また、連載開始前 気にしませんよ。大 は、「いいんです、

の懸念に

戸になる一との道立

ろうか。筆者に抗議 力を掛けたつもりだ 箱もの優先に危惧

減るのに箱ものばか 連載中、「人口が

けの話ではないか。 なかで正すといいだ て反省する点がある 対応である。町とし 逸した、大人げない

> 絡はなかった。 その人たちに事前連

なら、日々の行政の

に対する住民の意見

ナリストが行政施策

これでは、ジャー

を報じると、勝手に

すべきものを、筋違

出するなどした。圧 を訪れ、抗議文を提 けた町幹部が新聞社 安斎町長の指示を受

回覧板を使って全言 月1日付) が公区の 保町長名の文書(11

連載に対し、安斎

懇談したことも思い 任後、自宅を訪ねて の深い人だった。退 い」と受け流す。懐 いに書いてくださ は含まれない。

中央農業試験場の試 TPP(環太平洋連 算もある。これには 携協定)による影響 国の補助金で施設 用を進めるべきだ。 の広報紙に載った。

備は、行政主導に走 理費用は自治体(住 人口減少下の施設整 民)の負担になる。 を造っても、維持管

『狂牛病を追う』ほ

か。同町上名寄在

り、身の丈に合った け原木を適正価格で で個々の木質燃料の 木質バイオマスの利 住民に供給するシス ないよう、チップ向 いで…」との声が町 確保に影響を与えな そんな心配をさせ 「熱電併給の影響 と願う。それが明る 料提供を受け、議論 い地域づくりにもつ 町であってほしい、 のよい、おおらかな 臨むよう期待する」。 地域のニーズを捉 意見を求め、審議に え、積極的に住民に するのが役割。常に 談論風発、風通し 「町から多くの資